

昭和33年1月1日



第103号

区政のお知らせ

足立区役所

発行
足立区千住1の50
東京都足立区役所
長谷川久勇
編集
総務課総務係
電話代表 { 0151
3111

足立区千住2の55
株式 巧文社(織田)
会社
電話 88 1165、1166

謹賀新年



新年お目出とうございます。足立区が特別区になつてから十一年目の門出です。私達の区を私達の手でよりよい区にするために今年も一層はげみましょう。

昭和32年のメモ

- 元旦 元旦マラソン
- 1月4日 新年名刺交換会
- 15日 第6回区民駅伝大会
- 19日 成人のつどい
- 2月2日 21日 スキー教室第一次
- 2月2日 24日 スキー教室第二次
- 2月中 第2回奨学生募集
- 2月10日 5哩ロードレース大会
- 2月25日 商品包装紙コンクール
- 3月中 生活改善講習会
- 27日 12日 19日 第1回区議会定例会
- 28日 足立区遺族会慰安激励大会
- 4月5日 15日 中川提桜まつり
- 24日 29日 第16回成人学校
- 5月7日 子供の日野外演奏会
- 6月14日 7月3日 第2回区議会定例会
- 16日 足立区史蹟めぐり
- 7月9日 10日 江東三区農産物共進会
- 16日 農業委員会委員選挙
- 8月3日 4日 区民納涼大会
- 18日 11月21日 第10回区民体育大会
- 26日 31日 生業資金申込受付
- 9月中 生活改善講習会
- 9月25日 10月25日 第17回成人学校
- 26日 10月4日 第3回区議会定例会
- 10月9日 13日 区優良製品展示会
- 10月17日 18日 優良商品廉価即売会
- 10月下旬 11月中旬 第7回足立区文化祭
- 11月3日 特別区制、六三制実施、10周年記念式典と徳行者の表彰式
- 12月25日 27日 第4回区議会臨時会
- 12月1日 6日 歳末助け合い運動
- 11日 足立区体育館地鎮祭
- 19日 25日 第5回区議会定例会

年頭の辞

足立区長 齋藤恒助



昭和三十三年の新春を迎えるにあたり、謹んで区民の皆様へ新年のお慶びを申し上げます。願ひみますと昭和三十三年はまことに記憶すべき多彩な年でありまして、先ず外には驚歎すべき科学の進歩による人工衛星の打ち上げという人類史上未曾有の壮挙があり、宇宙時代近きを思わせるものがあります。

内には東海村原子力研究所にわが国最初の第二の火が点火され遅ればせながら原子力時代へのわが参加があります。昭和三十三年の出発にあたりこれら人類叡智の産物が人類福祉への寄与多大ならんことを念ずるものであります。さて身近に目を転じますと、わが足立区は生々発展、すでに人口三十六万を数えるに至り、教育に、土木に、産業経済に幾多発展のあとをたどり得ましたことは、まことに御同慶に堪えないところであります。即ち学校の増改築は勿論、道路、橋梁の改修、なか

でも西新井橋の架換、千住新橋の拡中、綾瀬橋の架設等大工事も着々進捗し、また工業生産額の増加、商店街の振興等、目覚ましいものがあり、かつまた旧ろう区民各位待望の体育館の建設も地鎮祭の執行となり、本年は輝やかしい建設の響に明け暮れ遠からず完成の運びを見ますことは、区民各位と共に年頭の喜びの一つとするところであります。而してこれら区政の進展はひとえに区民各位の平素区政に対する深い御理解と皆様の御努力の結果でありまして、私は衷心から敬意を表し、共に深甚なる感謝を捧げるものであります。

新年の御挨拶

足立区議会議長 清水宗忠



昭和三十三年の平和な新年を迎えるにあたり、区民の皆様へ心から御喜び申し上げますとともに、平素区政に対する御協力に対し深甚なる感謝の意

のであります。しかしながら区当面的の問題として昭和三十三年においてなすべきことは、発展途上の本区といたしまして、なお幾多の懸案事項がありますが、御承知のとおり、本区は自主財源に乏しく、部の財政調整交付金に多く依存する財政状態に置かれております。私共はこれ等悪条件の克服に努め、区民の皆様のご意のあるところを充分体し、明るく住みよい足立区建設のために全力を傾けたい念願であります。どうか区民の皆様旧に倍する御支援と御協力を賜わりますよう御願ひ申し上げます。私はここに本区の隆盛と区民各位の御多幸をお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたしま

す。昭和三十三年元旦

区民の皆様への御支援と御鞭達を心からお願い申し上げます。戦後地方自治法の制定によって誕生した特別区の制度は、旧来の行政区から脱皮して真に区民のための、区民の政治を標榜して全く苦難の道を歩み続けて参りましたが、昨年は区政史上記念すべき十周年を迎えたのであります。而しながら今日この特別区の制度のあり方については、都政調査会を中心として、巷間種々論争が行なわれつつあります。特別区の死命を制する様な改悪が意図されつつあり又国の府県制度の改革と相まつて、特別区の将来は予断を許さぬ重大な関頭に立つに至っている現状であります。一方区行政は区民各層の御協力によつて、長年本区の懸案事業であります体育館が着工せられまして、堤南の産業振興館と共に本区の文化施設が更に拡充強化され、又区内交通の要衝である西新井橋の架替工事は本格的な工事が再開され、千住新橋の拡中工事は年度内完工を目指して進捗中でありまして、その他教育関係施設の整備、道路、河川等の土木事業の推進等、住み良い足立区の建設は着々として進められております。又昨年は世界の脚光を浴びた人工衛星の実現によつて、著しい科学の進歩の跡が示され国際間の競争に一層拍車をかける結果となり、異常な反

響を呼びながら新しい昭和三十三年を迎えた次第でありまして、本年は誠に内外共に文字どおり多忙な年であるうかと推察されるのであります。このような事情の下における本年の区議会に課せられた使命は極めて重大なものがありますことは今更申し上げるまでもなく、区民生活に直結す

る事務事業の推進に区議会が一体となつて区政進展に積極的に寄与したいと願うものであります。何卒本年も区民各位におかれましては区議会に対し一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。昭和三十三年元旦

昭和三十三年の区政を回顧して

- ◆ 伸びゆく足立区、明るい希望に明けた昭和三十三年元旦に、より以上の区の隆盛を願ひながらここに昨年の区政のあゆみきた
- ◆ あとをお知らせし皆さんのご理解とご協力をお願ひするものであります。

十億余円の予算など 七十七案件を審議可決

区民の意思決定のための代表者である区議会は、昨年中は定例会四回、臨時会一回、合計五回の区議会が開かれ、又議会運営の合理化と能率化を図る目的で設けられた常任委員会は四十四回、議会の議決で付議された特殊な案件を審議するために設けられた特別委員会は二十三回開かれ、審議可決された案件は七十七件に達しました。

議決された案件のなかには、区政の根幹となる十億三千九十五万余円に達する予算、本木東小学校と蒲原中学校の新設、小学校の増改築、原水爆の禁止決議、新監査委員、教育委員会委員の選任の同意、新選挙管理委員会委員の選挙、足立区体育館新築工事の請負契約の議決などが含まれております。

又昨年中区議会で受理した請願、陳情の受理件数は次のとおりになっております。

請願	採択	不採択	陳情	採択	不採択	合計
四〇件	三件	二八件	八件	七九件		

産業

中小企業の育成に

経営、金融など各種の施策

商工農の三つの分野をもつて構成される区内の産業は、幸い過去の経済界の変動にもかかわらず、

このほか特別区制十周年の記念行事として工業製品展示会優良商品廉価即売会を催し何れも一万人以上の参観者を集め区内商工業品を広く紹介宣伝することができました。

配給行政の面では最近の食糧事情の好転から米穀の需給量も増大していますが、足立区全消費人口三十四万人に対し一年に三四、三四二、四一五瓩(二二八、九四九石)の米穀

しかし中小企業が大部分を占める本区は、中小企業共通の悩みである経営、金融の問題に対し、行政も中小企業金融対策を焦点の問題として注視してまいります。

この現状から昨年は夏と年末の二回、総数三八七件、総額四、四九一萬円の融資を行い金融の緩和を図りました。

更にこれと並行して経営の合理化と指導に努め、商業部門ではその繁栄のために、今まで行なってきた諸行事のほか新規事業として商品包装紙コンクールと研究会を開き今日経営上、広告・宣伝の必要性の認識を深めさせることができました。

経営の合理化については商店経営指導診断(五回)によって指導し、経営上の知識向上に店主、店員を対象に商店経

営講習会を開き好評でした。工業部門では工場経営の合理化を図るため工場巡回指導(七回)を行ない二十三工場の技術指導にあたり工業育成に努めました。



(写真は優良商品廉価即売会)

土木

進捗する二橋の工事

排水路、道路の整備にも努力

の配給割当を行なっています。この統制経済の所産として計量思想が普及し昨年実施した計量器事前調査による計量器の使用戸数は四、〇七二戸で計量器の数は二二、二〇七個でした。

昭和三十四年一月一日からは

計量単位は全てメートル法に統一され計量の単純化を促進することになっていきます。最後に都内第一の農地面積をもつ農業部門では江東三区連合農産物品評会を行なうなど技術改善につとめてますが、戦後の日本農業の変わり方は著

しく技術の進歩と交通機関の発達で都市近郊の農業の優位性は低下し、その大都市の急激な膨張によって農地が宅地に転換されたりして農業経営は著しく不安定になりました。区では今後の農業経営改善の指針として、果菜、洋菜、及び花卉の促成栽培のモデル地を設置し改善につとめています。

区の土木事業は年々確実な成果を挙げているとはいえ、広い地域と大部分が緑地々域であるためまだまだ充分とはいえないのが現状です。

昨年起工された西新井橋の改築、千住新橋の拡巾、牛田堀幹線下水の改良、綾瀬新橋の架設、環状七号路線の街路築造などは今年も引き続き行なわれるほか、新春早々本木排水路改修、旧桜堤防の路面補修その他道路改修、公園整備工事が着手されると同時に昭和二十八年から毎年行なわれていた本木町から西新井町に至る暗渠工事も引き続き行なわれます。

これらの事業と同時に管内道路の整備、河川水路の改修等が行なわれますが、なお未だ多くの懸案事業が残されておりこれらの実施に努力が注がれる予定です。

道路測溝改修

延長 20,355m
工事費 23,512,296円
労務者 11,752人

橋梁補修

北千住橋 18橋
工事費 10,322,337円
労務者 5,161人

公園整備

北千住公園地
工事費 2,790,591円
労務者 997人

路面補修

延長 26,476m
面積 110,208m²
工事費 41,275,678円
労務者 11,465人

昨年のおきな土木事業

道路改修

延長 14,799m
面積 12,136m²
工事費 18,154,700円
労務者 6,052人

水路補修

延長 720m
工事費 50,669,077円
労務者 16,890人

戸籍数及び人口						
戸籍数	戸籍人口	世帯数	人		口計	
			男	女		
52,275	200,454	78,941	179,454	171,893	351,347	

人口動態統計表						
出生			死亡			自然増加
男	女	計	男	女	計	計
2,331	2,115	4,446	1,318	947	2,265	1,043
						1,668
						2,181
						525
						2,288
						213

住民登録動態表						
転入			転出			計(差引増)
世帯数	男	女	世帯数	男	女	世帯数
10,105	26,032	21,737	47,769	7,055	20,928	16,878
						37,806
						3,050
						5,104
						4,859
						9,963

著しい社会増

戸籍事務は人の身分関係、配偶者や子供の関係などを正確にとらえ、身分上、財産上の権利義務は戸籍によって立証されます。

このほか各種行政事務に資料を供することを目的とする住民登録事務は基礎的な事務として重要なものです。

当区における各種届出の状況は次のとおりで自然増と呼ばれる出生死亡の差増、社会増と呼ばれる区内転出入の差増の大きいことが特徴です。



建築

まだ多い住宅困窮者

区内の都住建設は活潑

区の建築行政は、建築の確認、認可、許可等の指導、都営住宅の受付、庁舎および学校などの教育施設の設定などが挙げられますが、その一端をお知らせすると

○建築許可の申請受付件数

住宅 一、六九七
公共用建物 五八
店舗併用住宅 五四〇
工場及工場併用住宅六八二
農家 一九
寺院等 一〇
合計 三、〇〇六

○融資住宅の受付件数

一般個人住宅 五五九
建売住宅 一四
増改築住宅 一六四
合計 七三七

○都営住宅申込と建設状況
都営住宅の受付については入居希望者から五月下旬住宅困窮状況の申告を受け付け困難程度の格付を行ないましたが、当区は都全体からみると困窮程度の高いA Bが平均より高く住宅事情の逼迫がはつきりしています。入居希望者の公募は三月と十月の二回行なわれ延二九八五世帯の申込者があ

りました。一方これに対する都営住宅の建設状況は都からの委任によつて昨年中一七四戸、延一、四七九坪の竣工が終り、更に本年三月末頃までには一八七戸、延一五八九坪の完成が予定されています。

民生

区民の福祉増進に 新生活運動など動き多彩

区民の福祉向上のために努力している民生行政は、日常生活の合理化、簡素化を唱える新生活運動を強力に推進しているほか、福利の面では、生活困窮者、軍人遺家族、留守家族の援護、生業資金の貸付、青少年の保護育成、貯蓄の奨励等多方面にわたつて行なわれています。

このほか区立児童会館、公益質屋(二ヶ所)簡易洗濯所、本木診療所等の施設を有し広く区民の利用に供しています。新生活運動推進のため昨年は三月と八、九月の三ヶ月にわたり区内各所で洋裁、和裁、料理、家族計画の講習会を四



(写真は特殊学級生徒の夏期臨海補習)

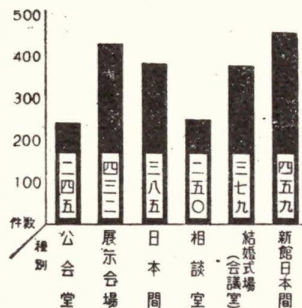
産業振興館

十八回開き好評を得ました。又生業資金の貸付は昨年で四回目に達し一〇八万円を三六名に貸付けてこの資金により生活困窮を救済するための大きな原動力とすることができました。

この資金は昨年の四回までに合計五四九万円一八三名に貸付した。開館以来三度目の新年を迎えた産業振興館は、施設の充実と共に利用者は増加の一途をたどり各種の集會、展示会に利用され、なかでも一昨年秋季開設された結婚式場は挙式の簡素さと厳しゆくことが区民から喜ばれシーズンともなると三ヶも先から予約満員となる盛況です。

付けられています。又昨夏七月二十四日には区内小、中学校の特殊学級の生徒がとかく家庭にとり残され勝ちになるのを慰め補導するため一、二名をバス二台に乗せ金沢八景で海水浴をいたしました。昨年末皆さんに御協力をお願いしました才末助け合い運動は一〇四万六千七百二十円の暖い義捐金をいただき生活困窮世帯、留守家族世帯など五五八七世帯に養老院等の施設収容者など一四三人の人々に差し上げることができました。皆様の御協力ほんとうに有難うございました。

会堂は講演会、公開録音などが催され、教養、娯楽の面に大いに貢献しています。又約百万円の予算で二階ホール防音改装と暖房増設工事が予定されており、ますます便利な区民の振興館としての利用が期待されます。昨年十一月末までの利用状況は次のとおりです。



一方区民の悩みについてお答えしている無料区民相談は相談に訪れる人が着実に増加しており、十一月末現在総件数

教育

画期的なPTA費の負担軽減 他に学寮建設の計画も

区行政のうち土木行政と並んで重点がおかれていた教育行政は、昨年中の特徴としては理科教育の振興整備のため小学校に是一校あたり五万円、中学校には十五万円を割当てて理科教材の充実をはかり、一方PTAの負担軽減のため予算二千八百万円を計上して校費にあてる措置のほか、始めて丈夫で美しい鉄筋コンクリート校舎が着工されるなど教育振興に成果を挙げました。

又昨年末の区議会では予算案が議決になった学寮建設計画は建築費一六〇万円で寮を作り家が狭かつたり、親の保護が行き届かない小、中学生を収容して学業にはげませようとするもので二十三区初の試みとして成果が期待されています。校舎建設は着々と進み昭和三十二年中に完成又は着工されるものは次のとおりです。

- 小学校
増築五四教室(内鉄筋一) 改築三五教室(内鉄筋二)
- 中学校
増築十六教室(内鉄筋一)

次に社会教育活動は社会人としての教養向上に開かれた成人学校の四月と五月と九月、十月の二回にわたつて四六〇名の数種目にわたつて四六〇名の受講者がありました。又児童生徒のレクリエーションとして行なつた日曜、休日の早朝映画会や学校や映画館の協力により予期以上の好成績をおさめ持続して開催する予定が流感のため一時中止のやむなきに至っています。

又婦人の教養向上のために行なわれている婦人学級は回を重ねること四回におよんで、区内婦人の多数から喜ばれ、現在では自主的に運営される子学級、孫学級となつて区内各所で盛んに学習されています。区民体育大会など多々開催されましたが、体育館が建設される本年はますます多大な成果がおさめられるものと期待されています。

一、二五件に達しています。相談内容は例年と変わらず、時代相を反映した、借地・借家・税務・金融についての相談がそれ／＼借地、借家三二九件、税務一三七件、金融一三三件との三件では、相談の半数を占めています。